

研究開発課題概要書（中間評価）

1. 課題名（期間）

21世紀の住宅・都市・建築のための研究ニーズ調査と技術開発ビジョンの検討（平成14～16年）

2. 主担当者（所属グループ）

研究総括監および研究主幹全員

3. 背景及び目的・必要性

21世紀の社会は様々の局面で大きな転換を余儀なくされ、国民の生活パターンも今後さらに変化することに疑問の余地はない。当然のことながら、この変化に応じて住宅・建築・都市に対する国民の要求もますます多様化すると考えられる。将来において社会及びユーザーから求められる住宅・建築の供給を可能とし、望ましい都市を実現するためには、住宅・建築・都市の将来像を想定した上で研究開発を実施することが必須である。また、そのためには個々の研究分野の視点を超えて、総合的な観点から研究を推進する必要がある。

本課題は将来において望ましい住宅・建築・都市を実現するための研究課題や技術開発ビジョンを整理するとともに、その推進のために分野を横断して追求すべき研究テーマを検討するものである。

4. 研究開発の概要・範囲

将来において望ましい住宅・建築・都市を実現するための研究課題や技術開発要件を整理するため、住宅・建築・都市の将来像に関するユーザーニーズ・シーズ等の把握を目的とした論文募集や社会動向調査等を、建築研究所のアピールに資する方向で行う。

また、中期計画等と関連して分野を横断して建築研究所が追求すべき研究テーマを抽出し、社会・技術開発動向の調査、及び関連して建築研究所が行うべき（行っている）研究課題群の選定・調整とその推進体制の検討・提案を次期中期計画を見据え行う。

5. 達成すべき目標

- ・住宅・建築・都市の研究ニーズとこれを実現するための研究課題や技術開発ビジョンの整理
- ・建築研究所で実施すべき分野横断研究テーマと研究課題群の選定および推進体制の提案
- ・次期中期計画における分野横断の重点研究課題に関わる検討と提案

6. 進捗状況（継続課題のみ）

- ・平成14年度に、懸賞論文「こんなまちに住みたい」を募集し、住月間の行事の一環として結果の公表・表彰等を行った。また、平成15年度は「幸せを育む住まいと建てもの」のテーマで懸賞論文の募集を行っている。
- ・平成13年度に実施した実務者に対するヒアリングのとりまとめを行い、建研資料として発刊し所内研究者へ配布した。これまでの懸賞論文についてもキーワードの整理を行うなど、社会ニーズを捉えるべく検討を行っているところである。
- ・平成15年度研究課題に関する構造グループ及び材料グループの提案に関連して、「既存建築ストックの活用」の観点から建築研究所が行うべき（行っている）研究課題群の選定とその推進体制の議論を行い、プロジェクトチーム設立までの支援を行った。